

文化・芸術

「バーウィック近くの墓地」

1941年、カゼイン・紙
31・0cm×53・0cm



国吉康雄 (1889～1953年)

国吉康雄は17歳で単身渡米し、以後ほとんど帰国することなくニューヨークの美術界で活躍し、アメリカ具象絵画を代表する存在となった画家です。しかし、第2次世界大戦によって、アメリカと日本、二つの国の間で引き裂かれるかのような苦悩と孤独を味わい、その悲しみを女性像や風景画に投影させて描きました。

国吉はしばしばアメリカ国内に写生旅行に出かけ、カントリースाइドの荒涼とした風景を表しました。1941年に制作された本作

大川美術館コレクション展
「戦後80年松本竣介と同時代の画家たち」展から

名画の扉

国吉はしばしばアメリカ国内に写生旅行に出かけ、カントリースाइドの荒涼とした風景を表しました。1941年に制作された本作

(佐藤)